

## 「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ）

基本目標 現状と課題	施策の方向			
	進捗状況	評価指標	評価	
<p>基本目標1：公民協働による地域福祉活動の推進</p> <p>少子高齢化や核家族化の進行などにより、地域における人と人とのつながりが希薄になってきている中、コロナ禍では追い打ちをかけるように対面や交流が難しい日々が続きました。そのような中でも地域福祉活動が停滞しないよう開催方法を工夫したり、利用者のニーズに沿った内容とすることで、令和4年度は参加者（利用者）数が回復傾向となりました。活動の主催者側の工夫による効果ももちろんのことながら、地域住民自身も、コロナ禍で交流活動が制限された反動から、人と人とのつながりの大切さがより実感され、地域福祉活動のニーズが高まったものと考えられます。</p>	<p>施策の方向1：お互いの顔の見える関係づくり</p>			
	<p>重点施策である「地域住民間の交流促進」「地域活動・ボランティア活動の促進」については、令和2年度以降コロナ禍の影響を大きく受け、実績値が落ち込んでいましたが、令和4年度に大きく実績が回復した取組が多くありました。また、自治会加入率は減少していますが、自治会加入促進ちらしを子育て支援施設や大型商業施設にも配架したり、市ホームページを活用した情報発信等を行っています。</p>	自治会加入率		C
		小地域ネットワーク活動の延べ参加者数		A
		高齢者生きがい活動センターの利用者数		A
	<p>施策の方向2：福祉活動の担い手づくり</p>			
<p>具体的施策「人権・福祉に対する意識の向上」について、気軽に学習できる場として開催している地域福祉市民フォーラムでは、市内で地域福祉活動を行っている団体の取組報告ができました。今後は地域福祉活動のPRができる場であり、具体的施策「地域福祉を担う人材の育成・確保」に寄与する取組としても活用できないか検討していきたいと考えています。</p>	障がい者サービスボランティア協力者数		B	
	青少年指導者講習会の参加者数		B	

## 「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ）

基本目標	施策の方向		
	現状と課題	進捗状況	評価指標 評価
<p><b>基本目標2：総合的支援のネットワークの構築</b></p> <p>重点施策である「成年後見制度の利用促進」と「包括的な相談支援体制の構築」については、地域と専門職とのつながりや、相談・支援機関同士が連携・協働できる体制として、地域連携ネットワークを構築していくことを目標に、各検討会議において事業実施や課題解決に向けて検討が進められています。</p> <p>包括的な相談支援体制を構築する手法として実施予定である重層的支援体制整備事業については、検討会議や研修を通じて庁内における共通認識の醸成を図ります。また、関係支援機関に向けては回数を重ねて事業の趣旨を説明するほか、市民や地域団体からの声を積極的に届けることで、本事業において期待される関係支援機関の役割等を共有し、目標達成に向けて足並みを揃えていきます。</p> <p>一方、重点施策である「地域の安心・安全を支える体制の充実」を達成するためには、地域における防災力・減災力の向上のため、自治会や自主防災組織、福祉施設等との連携が不可欠であり、災害時要援護者支援ネットワークを強化するとともに、吹田市災害時要援護者避難支援プランに基づき個別避難計画の作成を進める必要があります。</p>	<b>施策の方向1：権利擁護の推進</b>		
	重点施策である「成年後見制度の利用促進（吹田市成年後見制度利用促進計画）」に基づき、吹田市における中核機関の在り方について検討するため、令和4年7月に成年後見制度利用促進体制整備検討会議を立ち上げました。令和6年4月の中核機関開設を目指し、吹田市の権利擁護に関する現状と課題や中核機関に求める機能等について検討を進めています。中核機関の開設後は地域連携ネットワークを構築し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように権利擁護を推進していきます。	認知症サポーターの養成者数（累計）	C
		障がい者週間記念事業の啓発行事への参加者数	B
		成年後見制度の認知度	A
		日常生活自立支援事業利用者数	B
	<b>施策の方向2：地域福祉のセーフティネットの拡充</b>		
	重点施策である「包括的な相談支援体制の構築」の具現化に向け、複雑化・複合化した地域生活課題の解決を目的に地域福祉問題調整会議を活用し、重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討を始めました。不動産関係団体等と連携し住宅の確保が困難な方へのサポートを行う居住支援協議会（令和4年度設置）や権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関（令和6年度設置予定）等と連携した「吹田市モデル」となる重層事業の構築を目指します。	地域包括支援センターの認知度	A
		吹田市社会福祉協議会の認知度	A
		コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の（延べ）相談対応回数	A
		自主防災組織の結成数（連合自治会単位・単一自治会単位）	A
もうひとつの重点施策である「地域の安心・安全を支える体制の充実」に資する取組としては、地域支援体制づくりの一環で地域・福祉連携会議や勉強会を開催し、地域と連携して安心安全のまちづくりを推進しています。	災害時要援護者支援に関する協定締結地区数	B	

## 「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート（まとめ）

基本目標	施策の方向		
	現状と課題	進捗状況	評価指標 評価
<p><b>基本目標3：地域福祉活動推進の基盤整備</b></p> <p>地域で活動する団体などの活動を活性化するために、行政として、ヒト・モノ・お金・情報の面から支援することが重要です。市民アンケートにおいても、「地域福祉活動や公共施設に関する情報提供の充実」や「行政の施策をわかりやすく住民に知らせること」のような情報の開示・提供に関することが行政に求められている取組の上位になっています。中でも市が発信する情報については、市報すいたから入手しているという回答が最も多かったため、市報すいたで地域福祉活動の取組を紹介することも効果的だと考えています。取組を紹介する際には、参加者として記事を見るだけでなく、地域福祉活動の担い手として自分が活動している姿を想像しやすいような記事になれば、担い手確保にもつながると考えています。</p> <p>本市においては主に高齢者世代が地域福祉活動の中心を担っている現状ですが、新たな担い手確保のためには、地域のDX化を支援し、オンラインでの会合や、アプリケーション等の活用による活動の効率化を図り、子育て世代などの現役世代も、働きながらも参加できるような環境を整備していくことも重要であると考えています。その一方で、急速なDX化の過渡期である今、デジタルに適應できないことで情報が届かない、取り残されるということがないように、行政としてはちらしや冊子などの紙媒体による情報提供や、人を通しての周知・伝達も地域福祉の観点では必要であり、また災害時などの非常事態の備えとしてもアナログな手段が有効であると考えています。</p>	<b>施策の方向1：地域福祉活動に関する支援</b>		
	<p>具体的施策「地域で活動する諸団体への支援」として、民生児童委員の1人当たりの担当世帯数の平準化と定数増を実施しました。あわせて担い手確保の取組として民生委員活動の周知を目的に公式ホームページを立ち上げました。</p> <p>具体的施策「社会福祉協議会等の活動支援」として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について、本市における包括的な支援体制の構築においても重要な役割を担う存在として、全世代における認知度向上のため市報やイベントでの周知・PRを行っています。</p>	民生委員・児童委員の人数	B
		単位高齢クラブ数	C
		コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の認知度	A
		<b>施策の方向2：交流の場、活動拠点の整備</b>	
	<p>具体的施策「みんなの居場所づくり」として、ふれあい交流サロンの運営には新たに3団体が加わり目標達成に近づきました。具体的施策「地域福祉活動の拠点の整備」として、総合福祉社会館の貸館事業は、コロナ禍以降目的外使用による執務室としての利用が常態化しており、当初想定していた目的の達成は厳しい見込みです。</p>	ふれあい交流サロン設置数	B
		子どもプラザ事業実施回数	C
		貸館の延べ使用件数（総合福祉社会館）	C
	<b>施策の方向3：暮らしと健康を支える福祉サービスの充実</b>		
	<p>具体的施策「福祉や子供・子育てに関する支援」として、サービス提供箇所数や利用者数の増加を目標としている評価指標No.21～No.23について、いずれも毎年右肩上がりに増加しています。それでも需要に供給が追いついていない実態があり、引き続き体制の整備が課題です。具体的施策「就労と働きやすい環境づくりへの支援」として、いずれも目標値は実績値の維持となっており、増加することが必ずしも望ましいというものではありませんが、一定コロナ禍の影響を受けて減少していたものが回復傾向となっています。</p>	地域密着型サービスの整備箇所数	A
障がい福祉サービスの利用者数等		B	
留守家庭児童育成成入室児童数		B	
生活習慣改善するつもりはない人の割合		A	
各中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを配置した時間数		B	
移動経路のバリアフリー化率（整備済延長/全延長×100）		B	
JOBナビすいたの利用者数		A	
「障がい者就職応援フェアInすいた」への参加者数	B		